

徳島県職業能力開発審議会・部会（第2回）での主な指摘事項

記載方法・グラフについて	
1 年号表記の統一	・和暦と西暦が混在している。統一してはどうか。
2 正確な表記方法への修正	【 7 p 】・「〇〇%上昇」でなく、「〇〇ポイント上昇」 【 1 3 p 】・年齢別 → 年齢階級別 【 3 1 p 】・漢字・ひらがなのいずれかに表記を統一 (例)「分かる」、「わかる」 【 4 4 p 】・「独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構」に「(ポリテクセンター)」を追記
3 グラフの修正	【 8 p 】・単位がないものがある。(一例) ・凡例の記載方法の統一 ・よりふさわしいグラフの種類の選択 (例)・折れ線でない方がよい。 ・棒グラフより円グラフ。
内容について	
1 意味が分かりにくい表現の修正	【 3 4 p 】 ・「□産業界が行う最新技術を活用できる人材育成にも利用可能な訓練設備の充実」
2 具体的な取組例の項目の重複	【 4 2 p 】 ・①「技能五輪全国大会」「技能グランプリ等」に参加する選手・団体の支援 ②「技能五輪全国大会」への次年度以降出場候補者の派遣 ②は①に含まれるのではないか。
3 ドイツとの連携	【 4 3 p 】 ・徳島県らしさがある内容であり、もっと前面に打ち出してはどうか。 ・数値目標を掲げてはどうか。 ・これまで取り組んできた交流の実績を審議会に報告してほしい。 ・コロナ禍で動けない今を「準備期間」と捉え、再開の時には動けるように準備をしておくとうい。
4 目標値について(全般的に)	・いくつかの目標値は、過去平均から設定しているが、小数点以下切り捨てにより、実績より低い印象がある。 もう少し上を目指すような目標にできないか。
5 目標値 No 3	・5 Gに限定した8人でなく、社会情勢に合う、先端技術に対応できる人材の育成数にした方がよいのではないか。
6 目標値 No 6	・毎年2コース増加は、他の項目と比べ、大きくないか。